

公共空間デザインアドバイザー専門部会審議結果

六甲山最高峰トイレ新築工事	
概要	所在地： 北区有馬町字六甲山ほか 六甲山最高峰付近
	六甲山最高峰周辺において、既設トイレに対する課題解決を図ると共に、ハイカー等の来訪者の休憩・休息利用の場を生み出すため、トイレの撤去・新設および跡地や周辺広場の再整備を実施した
意見と対応	H30. 6. 6 と R2. 10. 30 に部会実施 (意見)
	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物に対して同化・対比の意識をしっかりとし、素材の選び方やデザインのセンス、現代的な視点を持って検討する ・ディティールの処理や風景の展開など、コンセプトをしっかりと持ってデザインを進める ・ごみ置き場や看板、擁壁など、今回整備する部分と併せて一体的な見方でデザインする ・多様な利用を想定し対応できるよう整備する ・長く美しく使えるよう、劣化を考慮したデザイン、形、素材を選ぶ ・アプローチ部分とトイレの部分を一体的にデザインする
	<p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根は穏やかな傾斜を組み合わせ、切妻のラインが連続することで六甲山の山並みになじむ形態とした ・山頂からの森の端部は草原風のクサハラをへて芝生広場へと繋げ、広場入口付近はトイレ前広場や最高峰への導入部として、トイレ及びトイレ前広場との連続性を確保し、全体と調和したシンプルで広い空間を整備した ・建築材料は、六甲山材や国産材の CLT、下見板等の木材を利用、耐久性を保てるよう木部には木材保護塗料、さらに湿気対策として保護塗料の下塗り材は防かび性能の高い材料を採用した
	   

公共空間デザインアドバイザー専門部会審議結果

鯉川筋歩道拡幅工事	
概要	<p>所在地： 中央区元町通1丁目 JR元町駅東口 南側歩道</p> <p>鯉川筋は、JR元町駅から旧居留地や南京町、メリケンパークに向かう主要な南北の動線であるが、現歩行者交通量に比べ歩道幅が狭い、滞留スペースがない、違法駐輪が多い、観光バスの駐停車場所となっているなど、様々な課題があったことから、これらの課題を解消し、都心内の回遊性を向上させるために、歩道拡幅を行うとともに、沿道のまちなみに合わせてデザインした空間整備を実施した</p>
意見と対応	<p>R元. 8. 28 部会実施 (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道はシンプルにし、店舗等を受け止めるようなデザインとしたほうがよい ・ 舗装材は経過とともに味わいが出る、グレードの高いものがよい ・ 点字ブロックはオープンカフェ等を配慮した位置に設置したほうが良い <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設帯は、既存の地上機器等に可能な限り合わせ、最低限の施設の設置に留める計画した ・ 舗装材はシンプルな黒のインターロッキングブロックとし、天然石を露出させた汚れにくく変色が少ないものを使用した

